

校長通信『清陵』発行50号記念

本校の校長通信『清陵』は、平成29年度より月1回以上、既に100回ほど発行しています。今回は50号記念として校長通信『清陵』に関することを記したいと思います。『清陵』は本校の指導方針、学校づくりの方向性等を、生徒、保護者、教職員のみならず、中学生、中学生の保護者、中学校教員、塾関係者など、多くの県民の方々に知っていただくために発行しています。県内の高校で、毎月必ず校長通信を発行している学校は決して多くありません。毎月発行するにしても、校長通信『清陵』を読むことで、社会や教育動向、高校入試などの知識を得たり、理解したりすることが大切です。すなわち発行者が読者に伝えたい情報を記載したり、読者ニーズを意識したりすることが重要なのです。



本校教職員、生徒並びに保護者と、中学生並びに保護者、中学校教員、塾関係者と配付・配布対象が異なりますので、A版とB版の2版体制で発行しています。A版は主に本校向け、B版は主に対外向けとなっており、両版共にA4の1枚裏表2ページとなっています。

以前から学校のホームページやPTA広報誌はありましたが、内容は学校行事や連絡事項などです。これに対して校長通信『清陵』は、学校から指導方針や、校風などの雰囲気、校長からのメッセージを伝え、なるべくPTA広報誌『清陵』と、内容が重ならないように努めています。

A版は生徒並びに保護者を主に対象としていますので、生徒を通じて各家庭に配布しています。『清陵』を発行するにあたって、生徒が『清陵』を読み、家庭に持っていきこうとする内容であるか、否かが重要だと思っています。主に社会や教育の動向、進学に関することなどを中心に、生徒への進路や人生100年時代に関するなどが記されています。今年度は例年と異なり、新型コロナウイルス感染防止の対策や、学校再開への準備について記されています。掲載した主なもののバックナンバーを記しておきます。

*平成29年度

第2号A～第3号A 学校見学(1)・(2) 第6号A メタ認知能力って聞いたことある？

第7号A～第8号A 10年後、20年後に現在の半分の仕事はなくなるのか？(1)・(2)

第11号A 門出に想う

*平成30年度

第12号A～第13号A 大学、専門学校の中退を考える(1)・(2)

第14号A ポートフォリオって知っている？ 第17号A 写真甲子園 準優勝！

第18号A 総合的な探究の時間の研究開発校に指定される！

第19号A 振り返り(リフレクション)とは

第22号A キャリア教育優良学校として文部科学大臣表彰 第23号A 伝統の創造

第24号特別号 青春時代を回顧

*平成31年度

第25号A 世界最古の会社から学ぶもの

第30号A 総合型選抜、学校推薦型選抜はどうなるのか 第33号A 探究する力とは

平成29年度の創刊より、この間、女子テニスプレーヤーの大坂なおみ選手のグランドスラムシングル優勝を獲得前の成長や、将棋の藤井二冠の4段時の活躍なども扱われています。

B版は主に中学生並びに保護者、中学校教員、塾関係者を対象としています。本校の通学圏内の中学校や、駅周辺の塾など、凡そ200校(教室)にポスティングや郵送で配布しています。また、公私合同説明会や、本校が開催する学校説明会、学校案内配布会等で配布しています。こちらもA版同様に社会や教育の動向、進学に関することなどを記載しています。さらに、高校選びの視点や高校入試制度、本校の選考方法など、本校の志願者のみならず幅広い中学生に役立つ情報やアドバイスなども記載されています。

校長通信『清陵』は、教職員、生徒並びに保護者、さらに中学生並びに保護者、中学校教員、塾関係など、なるべく多くの方々に読んでもらい、本校や校長を知ってもらいたいと思って発行しています。校長は経営者であり、トップの地位にいるからこそ、語れることが少なからずあります。会社の社内報では、ビジョンの共有や方向性を示す場合、社長は社内報で毎号出ることが必須とされています。



校長は麻生高校の担任時に、B4版のクラス通信『狸蕎麦』を毎日発行(当時、現在のようにパソコンのワープロが普及していなかった)していました。この時、クラス通信を配付して生徒がゴミ箱に捨てず、家庭に持ち帰るような内容にするには、何を掲載すればよいのか考えました。その時のことが、いまに繋がっていると思います。

校長になると他の教員と眺めが異なってきます。ただ眺めが違って呆然と眺めていればよいわけではありません。眺めが違うポジションに就いたからには、自分にしかできないことを行い、自分にしか背負えないことを負うのです。特に、自分しかできないことは、学校経営者のトップとして学校を運営していくことです。学校を運営していくには、教職員のみならず生徒並びに保護者に学校の方向性を示す

必要が出てきます。私は校長として教職員や生徒に対して学校の方向性を示すことを、最も大切な役割と思っています。何はともあれ50号(A・B版では100回)まで発行しました。今後も校長通信『清陵』をよろしく願いいたします。